

合格体験発表会

3月20日（火）

終業式の日、国公立大学の推薦入試、前期一般入試で見事に合格をされた先輩が、合格に至るまでの自らの歩みを話してくれました。在校生の皆さんと同じように、ここで学び、部活動などの学校生活に一生懸命取り組んできた先輩が、どのように進路を決定し、受験勉強に取り組んだのかを知ることができ、受験という壁を乗り越える具体的な手がかりを得ることができたのではないのでしょうか。「来年ここで話すのは自分だ」というチャレンジャーを美鈴が丘高校は全力で応援します！

講堂での合格体験発表会



県立広島大学生命環境学部環境学科 合格
小原 円加 さん

2年生の早い時期から準備を始めた。環境についての本を読んだり、大学のオープンキャンパスに何度も足を運んで情報を集め、推薦ノートにまとめた。面接などの推薦の準備に加え、一般入試に向けた学習にも、手を抜かなかった。合格後も入学後のために、センターまでは一生懸命に自分を高めることに取り組んだ。

県立広島大学経営情報学部経営学科 合格
林 大雅 くん

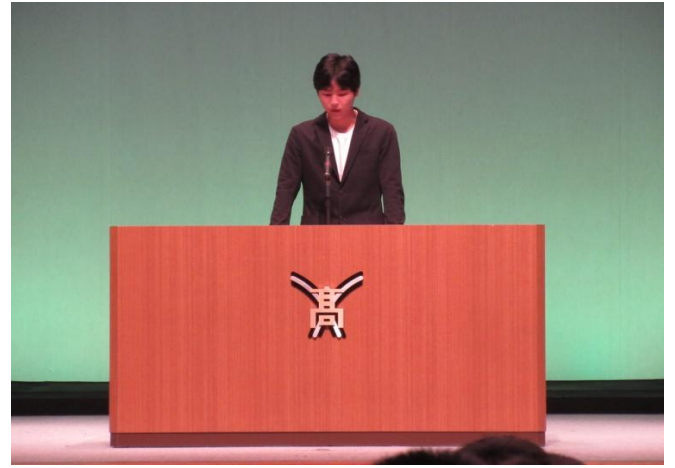
部活動と勉学の両立が難しかったが、時間を有効活用することを意識した。授業の時間を大切にし、自分に合った学習方法を見つけると、うまくいった。志望理由書を書く際には先生に何度も添削していただいて完成させた。小論文も練習することでより具体的に書けるようになった。一般試験を意識した勉強も最後まで頑張った。推薦にはメリットもデメリットもあるので、よく考えて選択してほしい。



広島市立大学情報学部 合格

大畑 一志 くん

はっきり進路が決まるまでは、いろいろな学校のオープンキャンパスに行った。図書館や公民館を利用し、学習合宿にも参加して、コツコツ学習に取り組んだ。受験勉強を振り返って、よかったと思えること。「上手く息抜きをしながら自分のペースで学習できたこと」「学校の先生に積極的に質問に行き、先生が熱心に教えてくれたこと」「一緒に高めあえる友達がいたこと」



奈良県立大学地域創造学部地域創造学科 合格

27期生 鹿島 拓歩 くん

現役の時にダメだったと思うこと。「基礎を大事にしなかったこと」「復習をしなかったこと」「科目を早く絞ってしまったこと」「自己分析をせず、苦手を苦手のままにしてしまったこと」後輩のみんなには自分の体験を参考に、それぞれ希望の進学先に受かって欲しい。ここまで応援してくれた周りの人にとっても感謝している。

九州大学医学部保健学科 合格

27期生 古田 凜太郎 くん

現役の頃は、テスト期間以外はあまり学習をしなかった。受験勉強を始めてからは、それまでに身につけることが出来ていなかった基礎から学習していったが、思うように結果がでなかった。みなさんには日々の授業での学びを大切にしていってほしい。浪人していることで、プレッシャーは大きかったが、受かってからは自分への自信もついたり、最高の達成感を味わうことができた。



「チャレンジャーである皆さんは美高の誇り」 がんばれ美高生！！